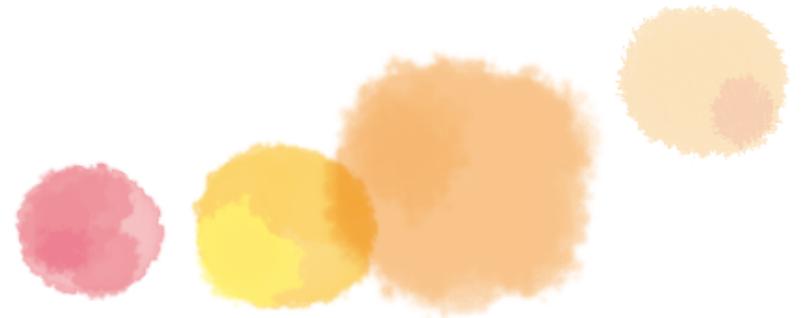




感染症発生時に管理者がとるべき行動

連絡、周知、広報、対策機種^oの選定ポイント



COVID-19

企業での感染対策
緊急連絡と予防管理





感染者が出た時の連絡対応(例)

| 連絡体制 | 感染者自身 | 自社責任者 | 管理会社 | 他のテナント | オーナー | 保健所 |
|-------------|---------------|-------|------------------|---------|------|-----|
| 日常清潔管理 | ◎ | ◎ | ◎ | | | |
| 体調の変化連絡 | ◎ → 連絡 | | | | | |
| PCR検査実施 | ◎ → 連絡 → 連絡 | | | | | |
| | | | 消毒の準備 消毒会社の予約 | | | |
| 陽性確定 | 連絡 → 連絡 隔離 | | 連絡 → 連絡 | 連絡 → 連絡 | 連絡 | |
| | | 相談 | 相談 | 相談 | 相談 | 指示 |
| | | 消毒の実施 | 消毒の実施 消毒会社へ要請 | | | |
| 掲示 ネット公開 | | | (◎) | | ◎ | |



企業における COVID-19 防止策の例

1、感染経路、予防方法の周知徹底

→衛生講習会などの開催

ex: 新型コロナウイルスはどのように伝播(感染)するのか
飲食店(飲み屋)、カラオケ店はなぜ危険か

→机上衛生の習慣づけ

→消毒薬の個別配布

2、室内換気の見直し

→循環(レタン)比率を下げる

→換気経路の確保(ドア開放など)

→空気だまりの解消

3、テレワークなどの導入

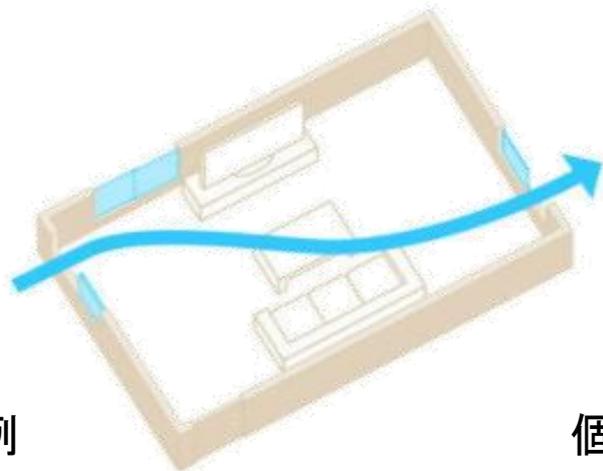
4、組織による大規模飲食の自粛

5、BCPの見直し(Business continuity planning事業継続計画)

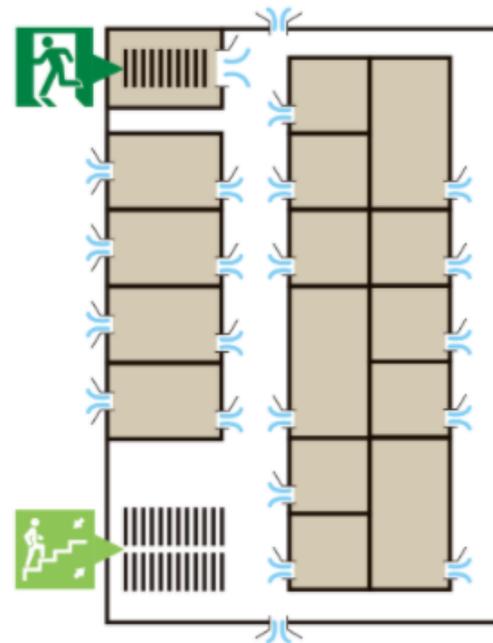
→感染者の在宅ワークの取り組み(法律改正後)

換気・通気は必須です。

- ◎換気扇は常時運用する(熱交換換気扇がベスト)
- ◎ドアを開ける、広い部屋は対角2か所の窓を開ける
- ◎1か所しか窓がない場合は扇風機やサーキュレーターを使用する



事務所の例



個室の例



扇風機



サーキュレーター

タンパク質・有機物の汚れがあると消毒効果が減少する

消毒薬のウイルスに対する不活化作用

| 消毒薬剤名 | ALB | TCID ₅₀ | | | | | |
|----------------|-----|---|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| | | × 10 ¹ | × 10 ² | × 10 ³ | × 10 ⁴ | × 10 ⁵ | × 10 ⁶ |
| 次亜塩素酸Na1000ppm | — | [Bar chart showing TCID ₅₀ values for NaOCl 1000ppm without ALB] | | | | | |
| | + | [Bar chart showing TCID ₅₀ values for NaOCl 1000ppm with ALB] | | | | | |
| 次亜塩素酸Na5000ppm | — | [Bar chart showing TCID ₅₀ values for NaOCl 5000ppm without ALB] | | | | | |
| | + | [Bar chart showing TCID ₅₀ values for NaOCl 5000ppm with ALB] | | | | | |
| エタノール70 (w/w%) | — | [Bar chart showing TCID ₅₀ values for 70% ethanol without ALB] | | | | | |
| | + | [Bar chart showing TCID ₅₀ values for 70% ethanol with ALB] | | | | | |
| 対 照 | — | [Bar chart showing TCID ₅₀ values for control without ALB] | | | | | |
| | + | [Bar chart showing TCID ₅₀ values for control with ALB] | | | | | |

ALB：アルブミン(一群のタンパク質の総称)

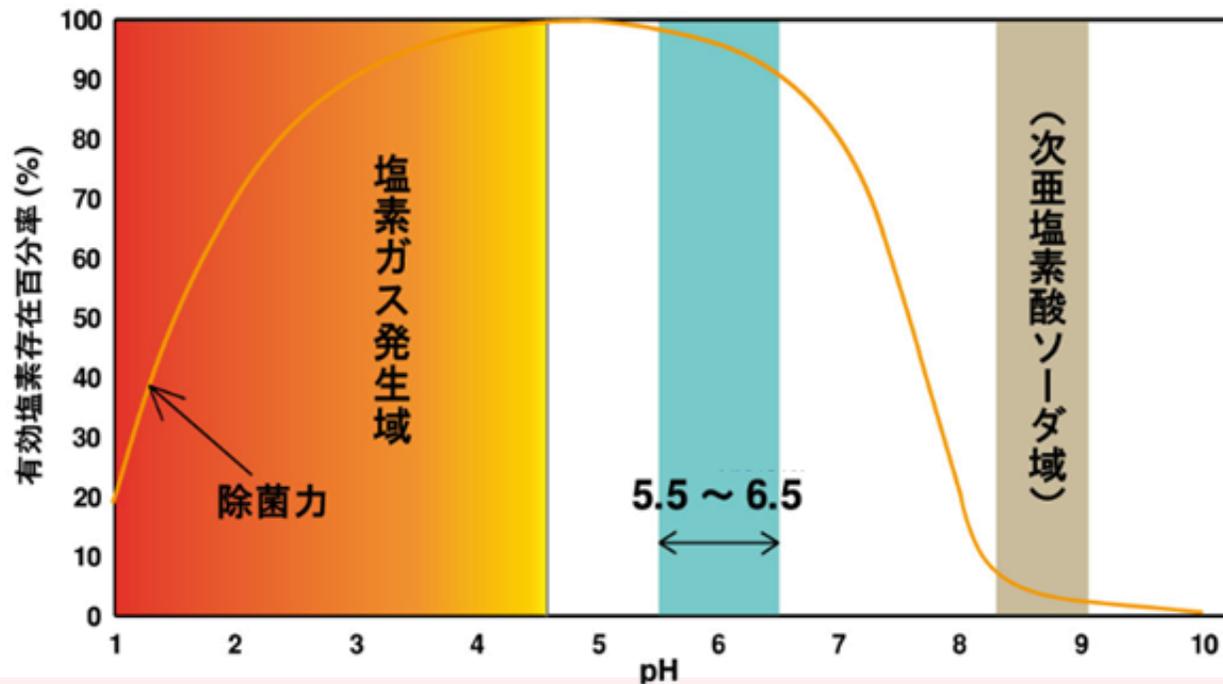
TCID₅₀：(組織培養細胞の52%を死滅させるウイルス量)

次亜塩素酸水について

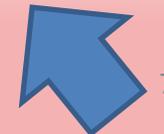
何故強い効果があるのか？

使い方を間違えると、ただの水になってしまう・・・

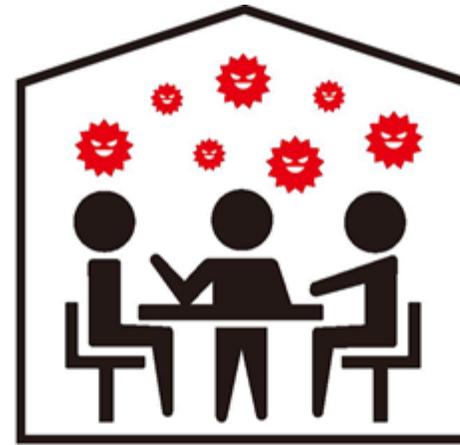
次亜塩素酸ソーダのpH変化による除菌力の変化と
次亜塩素酸水のpH値（例）



- ・ 食品添加物（次亜塩素酸ソーダと塩酸）からできています。
- ・ 次亜塩素酸の含有比率が高く即効性があります。
- ・ 高濃度：400 p p m（塩素濃度）

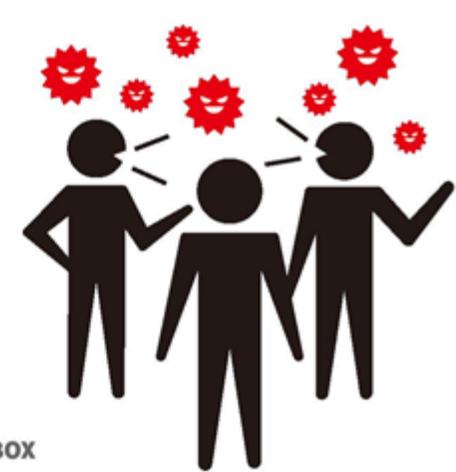
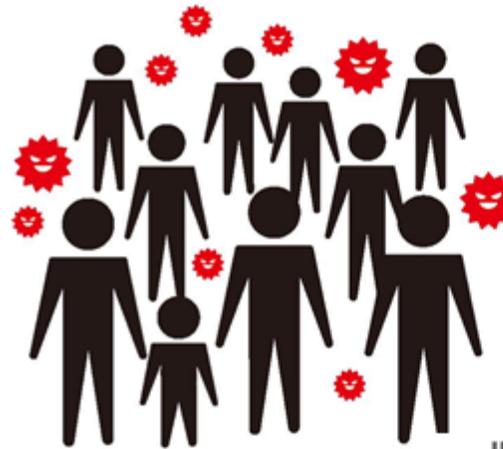


感染防止対策とは



密閉

密集



密接

ILLUST BOX

- ①要は口や目にウイルスを入れない事、つまり汚い手で**口や目の周り**を触らないこと
- ②ウイルスが空気を介して口や目に入らないように**狭い空間**に居ないこと
- ③エアロゾルなどが溜まらないように**換気・排気・送風**を行うこと

COVID-19

コロナウイルス感染症の
予防対策機器について





新型コロナウイルスに有効と言われている商材

光触媒コーティング

銀イオンコーティング

ガラスコーティング

オゾン(オゾンガス、オゾン水)

各種触媒による空気清浄機

二酸化塩素製品

次亜塩素酸水(消毒、空間除菌)、亜塩素酸水

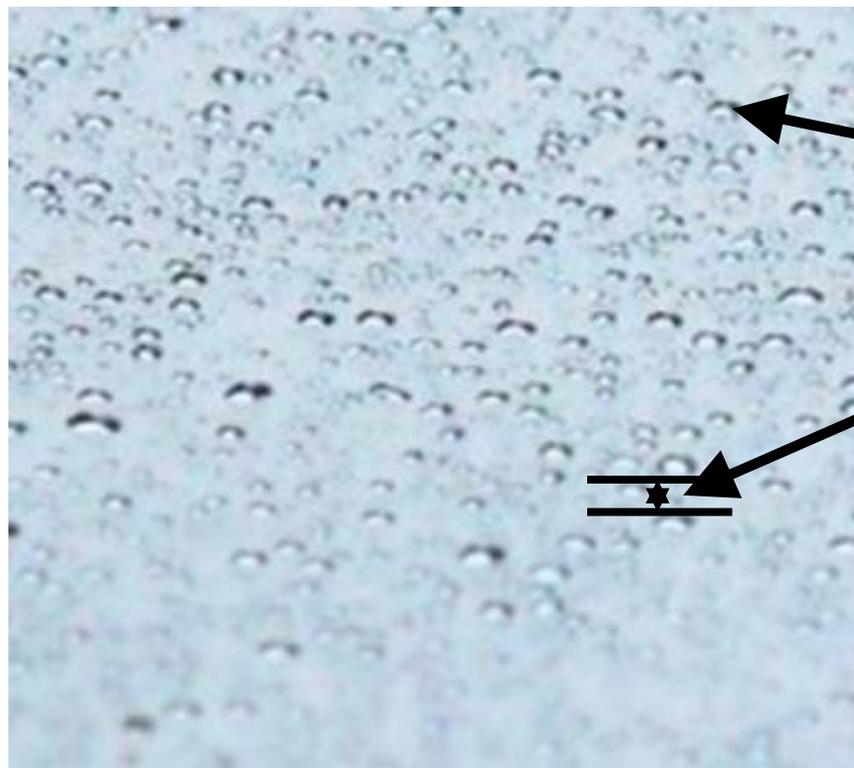
エビデンスがしっかりとれている商品を選択すること。

◎エビデンスとは、証拠・根拠、証言、形跡などを意味する英単語"evidence"に由来する、外来の日本語。一般的には、発言の証拠や提案の根拠を指す用語として使われる。 Wikipedia より抜粋

◎生産者(販売者)から提出されるエビデンスの検証条件と実際のフィールド環境条件が近似していないことが多い

各種コーティング薬剤の付着状態

反応時間とコーティング粒子の状態
(顕微鏡写真など)を確認する必要がある



薬剤＋溶媒

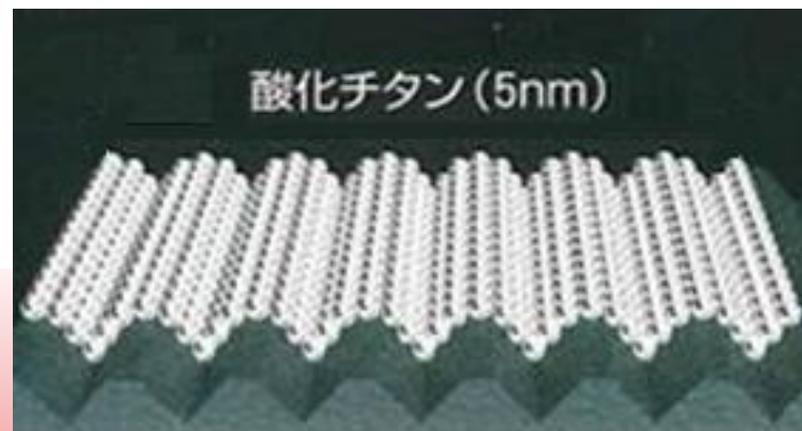
(表面張力により大きくなった水滴中に粒子が均等に分散しているか)

水滴間の距離

(ウイルスのサイズよりはるかに大きい)

触媒粒子サイズ : 約2~7nm

噴霧された薬剤の様子(イメージ図)



触媒粒子が5nmの場合の配列見本

次亜塩素酸水の空間噴霧について

undisclosed

世界保健機関(WHO)は、新型コロナウイルスに対する消毒に関する見解の中で、「室内空間で日常的に物品等の表面に対する消毒剤の(空間)噴霧や燻蒸をすることは推奨されない」としており、また、「路上や市場と言った屋外においてCOVID19やその他の病原体を殺菌するために空間噴霧や燻蒸することは推奨せず」

「屋外であっても、人の健康に有害となり得る」としています。また、「消毒剤を(トンネル内、小部屋、個室などで)人体に対して空間噴霧することはいかなる状況であっても推奨されない」としています。

(5月15日発表)



次亜塩素酸水の空間噴霧について

【参考情報3 「次亜塩素酸水」の空間噴霧について】

undisclosed

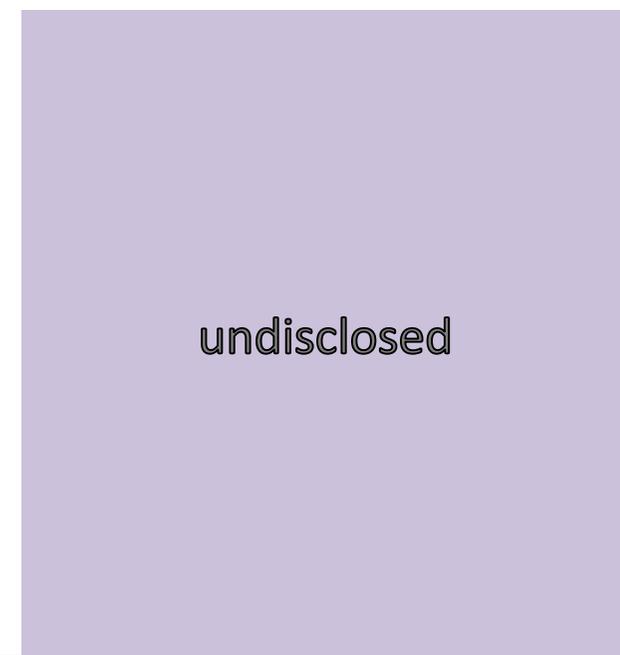
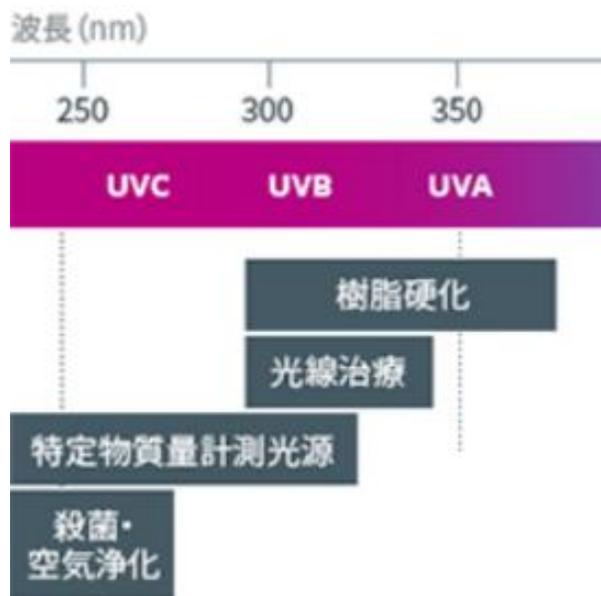
「次亜塩素酸水」の空間噴霧で、付着ウイルスや空気中の浮遊ウイルスを除去できるかは、メーカー等が工夫を凝らして試験をしていますが、国際的に評価方法は確立されていません。

安全面については、メーカーにおいて一定の動物実験などが行われているようです。ただ、消毒効果を有する濃度の次亜塩素酸水を吸いこむことは、推奨できません。空間噴霧は無人の時間帯に行うなど、人が吸入しないような注意が必要です。

なお、ウイルスを無毒化することを効能・効果として明示とする場合、医薬品・医薬部外品の承認が必要です。現時点で、「空間噴霧用の消毒薬」として承認が得られた次亜塩素酸水はありません。

• 空気清浄(ウイルス不活化)機

- 会社の営業時間内に作動前と作業後(2時間以上経過後)に効果確認(菌検査)を行ってみましょう(ウイルスは検査できない)



UV-C殺菌照射装置

室内空気の自然循環時に照射されたUV-Cにより不活化(消毒)される

吸引式UV-C消毒機

機器内を通過する空気量が部屋容積の何回分かが効果に影響する



新型コロナウイルスに有効と言われている商材

- **光触媒式空気清浄(ウイルス不活化)機**
 - 会社の営業時間内に作動前と作業後(2時間以上経過後)に効果確認(菌検査)を行ってみましょう(ウイルスは検査できない)

光触媒フィルターによるウイルス不活化装置

光触媒に紫外線を照射することにより触媒の活性を飛躍的に上げ、効率よく不活化する。

機器内を通過する空気量が部屋容積の何回分かが効果に影響する



ご清聴ありがとうございました。

お問い合わせ・ご用命は

